



2025年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月2日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7447 URL <https://www.nagaileben.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山村 浩之 TEL 03-5289-8200
半期報告書提出予定日 2025年4月11日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年9月1日～2025年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期中間期	7,843	6.1	1,499	△6.8	1,543	△5.9	1,062	△5.9
2024年8月期中間期	7,392	△6.8	1,608	△13.5	1,639	△13.3	1,129	△12.9

(注) 包括利益 2025年8月期中間期 1,071百万円 (△7.9%) 2024年8月期中間期 1,163百万円 (△8.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期中間期	34.01	ー
2024年8月期中間期	35.39	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年8月期中間期	43,892	40,735	92.8
2024年8月期	46,727	42,697	91.4

(参考) 自己資本 2025年8月期中間期 40,735百万円 2024年8月期 42,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2025年8月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
2025年8月期（予想）	ー	ー	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	6.6	4,082	1.9	4,175	2.5	2,883	2.2	93.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年8月期中間期	35,736,000株	2024年8月期	35,736,000株
② 期末自己株式数	2025年8月期中間期	4,762,825株	2024年8月期	4,246,153株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年8月期中間期	31,244,953株	2024年8月期中間期	31,898,425株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年4月3日（木）にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また、事前に録音した音声による説明内容を当日使用する決算説明資料とともに、決算説明会当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
販売の状況	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、インフレの継続や円安進行による消費者物価上昇の影響は大きく、米国新政権の動向、中国経済の先行き懸念などから、依然として先行きは不透明な状況にあります。

医療・介護を取り巻く環境は、前年に行われた医療・介護報酬のプラス改定分は、継続する諸物価の高騰と人件費アップに消化され、医療・介護機関の経営環境改善への寄与はなく、経営指標はさらに悪化するなど、前期に引続き厳しい状況にあります。

このような厳しい市場環境下ではあったものの、メディカルウェアは消耗品かつ実用品であり、遅れていた更新案件の発生により市場は回復し、当中間連結会計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の売上は、前年同期比6.1%増の7,843百万円となりました。

主力のコア市場においては、前期からの期ズレ案件が高機能商品を中心に順次更新され、予定していた大口案件も順調な納入が進みました。また前期から販売を開始したハイエンド商品の「MACKINTOSH PHILOSOPHY」も好調に推移した結果、前年同期比6.6%の増収を達成いたしました。周辺市場では、需要の拡大している高付加価値商品の患者ウェアの売上が拡大し、手術市場も新規案件の獲得などにより順調に推移したことで、ほぼ計画通りの6.4%アップとなりました。一方海外市場は、予定していた大口案件が第4四半期に変更となったことが響き、売上規模が小さいこともあり23.5%の大幅な減収でありました。

利益に関する状況といたしましては、国内から海外への生産移管によるシフトを進めることでコスト減を図りましたが、円安水準による為替の影響、原材料の価格改定や国内人件費および、物流費の増加などのコスト増加要因により、売上高総利益率は、前年同期比3.4ポイントダウンの39.8%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、賃金引き上げや中途採用活動の強化等による人件費の増加等により、前年同期比2.0%増となりました。

	期初見通し	実績	計画比
売上高	7,660 百万円	7,843 百万円	2.4%増
営業利益	1,469 百万円	1,499 百万円	2.0%増
経常利益	1,514 百万円	1,543 百万円	1.9%増
親会社株主に帰属する当期純利益	1,045 百万円	1,062 百万円	1.6%増

このような状況のもと、当中間連結会計期間の売上高につきましては、7,843百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1,499百万円（同6.8%減）、経常利益は1,543百万円（同5.9%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,062百万円（同5.9%減）を計上し、期初見通しを上回りました。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は43,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,834百万円減少いたしました。流動資産合計は35,505百万円となり2,780百万円減少し、主な要因は、現金及び預金の減少3,291百万円、電子記録債権の減少441百万円、受取手形及び売掛金の増加524百万円、棚卸資産の増加555百万円等であります。固定資産合計は8,387百万円となり、54百万円減少いたしました。その内訳として有形固定資産は7,207百万円となり105百万円減少、無形固定資産は91百万円となり18百万円増加、投資その他の資産は1,087百万円となり32百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は3,156百万円となり、前連結会計年度末に比べ873百万円減少いたしました。流動負債合計は2,228百万円となり878百万円減少し、主な要因は、支払手形及び買掛金の減少365百万円、未払法人税等の減少195百万円等であります。固定負債合計は928百万円となり、5百万円増加いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は40,735百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,961百万円減少いたしました。主な要因は、配当の実施による1,889百万円の減少、親会社株主に帰属する中間純利益1,062百万円の計上による増加等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の91.4%から92.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,557百万円となり、前連結会計年度末に比べ791百万円減少いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は231百万円（前年同期は83百万円）となりました。

主な要因は、税金等調整前中間純利益1,543百万円（同1,639百万円）、減価償却費134百万円（同130百万円）等による増加と、法人税等の支払額706百万円（同819百万円）、棚卸資産の増加額555百万円（同942百万円）、仕入債務の減少額365百万円（前年同期は40百万円の増加）、売上債権の増加額176百万円（同11百万円）等による減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は2,325百万円（前年同期は890百万円の使用）となりました。

主な要因は、定期預金の預入に対する払戻の超過収入2,500百万円（前年同期は払戻に対する預入の超過支出800百万円）等による増加、有形固定資産の取得による支出136百万円（同81百万円）等による減少であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,885百万円（同1,925百万円）となりました。

これは、配当金の支払額1,888百万円（同1,925百万円）、自己株式の取得による支出1,179百万円（同626百万円）等による減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2024年10月1日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,349,457	23,057,699
受取手形及び売掛金	2,705,036	3,229,642
電子記録債権	2,300,924	1,859,878
棚卸資産	6,591,075	7,146,729
その他	339,694	211,675
貸倒引当金	△501	△510
流動資産合計	38,285,687	35,505,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,512,856	2,444,419
機械装置及び運搬具(純額)	213,465	211,779
土地	4,440,815	4,440,815
建設仮勘定	39,900	—
その他(純額)	106,305	110,883
有形固定資産合計	7,313,343	7,207,897
無形固定資産	72,578	91,441
投資その他の資産		
投資有価証券	193,559	180,075
退職給付に係る資産	69,768	86,842
その他	794,250	822,878
貸倒引当金	△1,800	△1,800
投資その他の資産合計	1,055,778	1,087,995
固定資産合計	8,441,701	8,387,334
資産合計	46,727,388	43,892,449
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,298,279	932,419
未払法人税等	748,093	553,023
賞与引当金	85,547	85,202
その他	974,440	657,378
流動負債合計	3,106,361	2,228,023
固定負債		
役員退職慰労引当金	41,890	43,845
退職給付に係る負債	509,540	513,706
その他	372,117	371,027
固定負債合計	923,548	928,579
負債合計	4,029,909	3,156,603

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (2025年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	1,938,051	1,949,071
利益剰余金	44,719,226	43,892,327
自己株式	△5,953,431	△7,108,410
株主資本合計	42,629,120	40,658,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,893	67,744
繰延ヘッジ損益	△17,582	101
退職給付に係る調整累計額	8,047	9,739
その他の包括利益累計額合計	68,358	77,585
純資産合計	42,697,478	40,735,846
負債純資産合計	46,727,388	43,892,449

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
売上高	7,392,002	7,843,146
売上原価	4,196,486	4,725,311
売上総利益	3,195,516	3,117,835
販売費及び一般管理費	1,586,883	1,618,657
営業利益	1,608,632	1,499,177
営業外収益		
受取利息	2,259	12,774
受取配当金	2,819	2,976
受取賃貸料	44,143	43,991
為替差益	1,094	241
雑収入	6,956	11,707
営業外収益合計	57,273	71,693
営業外費用		
固定資産賃貸費用	23,385	25,159
雑損失	2,758	2,469
営業外費用合計	26,143	27,629
経常利益	1,639,763	1,543,241
特別損失		
固定資産除売却損	0	30
特別損失合計	0	30
税金等調整前中間純利益	1,639,763	1,543,210
法人税、住民税及び事業税	522,133	518,573
法人税等調整額	△11,403	△37,853
法人税等合計	510,729	480,719
中間純利益	1,129,033	1,062,491
親会社株主に帰属する中間純利益	1,129,033	1,062,491

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
中間純利益	1,129,033	1,062,491
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,210	△10,148
繰延ヘッジ損益	△17	17,684
退職給付に係る調整額	17,001	1,691
その他の包括利益合計	34,195	9,226
中間包括利益	1,163,228	1,071,718
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,163,228	1,071,718

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,639,763	1,543,210
減価償却費	130,967	134,576
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,937	△345
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,380	1,955
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△15,700	△10,333
受取利息及び受取配当金	△5,078	△15,751
為替差損益(△は益)	△2,607	510
有形固定資産除却損	0	30
売上債権の増減額(△は増加)	△11,410	△176,636
棚卸資産の増減額(△は増加)	△942,883	△555,654
仕入債務の増減額(△は減少)	40,943	△365,859
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,313	△34,217
その他	△69,447	△50,547
小計	732,668	470,947
利息及び配当金の受取額	3,180	4,230
法人税等の支払額	△819,736	△706,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	△83,887	△231,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,900,000	△1,100,000
定期預金の払戻による収入	2,100,000	3,600,000
有形固定資産の取得による支出	△81,527	△136,878
無形固定資産の取得による支出	△7,263	△35,596
投資有価証券の取得による支出	△993	△1,130
貸付けによる支出	—	△1,237
貸付金の回収による収入	1,969	540
その他	△2,761	283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△890,576	2,325,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,925,303	△1,888,080
自己株式の取得による支出	△626,519	△1,179,595
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	626,519	182,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,925,303	△2,885,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,585	△594
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,897,181	△791,758
現金及び現金同等物の期首残高	7,759,008	5,349,457
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,861,827	4,557,699

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首より適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針 第28号 2022年10月28日。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、この会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、当中間連結会計期間において2024年4月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式70,900株を177,371千円で取得、2024年10月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式460,900株を999,869千円で取得いたしました。この結果、当中間連結会計期間末において自己株式が7,108,410千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は、2025年2月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に関する事項について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施しております。

1. 自己株式の取得を行う理由

定款の定めに基づいて、今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため、自己株式を取得するものであります。

2. 取得の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 600,000株を上限とする。
(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合1.94%） |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10億円を上限とする。 |
| (4) 取得する期間 | 2025年3月3日～2025年5月31日（約定ベース） |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. 取得結果

上記市場買付による取得の結果、2025年3月3日から2025年3月31日（約定ベース）までの間に、当社普通株式181,500株（取得価額の総額359,194,900円）を取得いたしました。

3. その他

販売の状況

販売実績

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、市場別情報を記載しております。

市場別 (千円)	当中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	前年同期比 (%)
コア市場	5,530,478	106.6
(ヘルスケアウェア)	(4,263,272)	(107.8)
(ドクターウェア)	(1,079,062)	(105.8)
(ユーティリティウェア・他)	(188,143)	(88.8)
周辺市場	2,230,667	106.4
(患者ウェア)	(1,472,702)	(106.5)
(手術ウェア)	(757,965)	(106.2)
海外市場	81,999	76.5
合計 (千円)	7,843,146	106.1